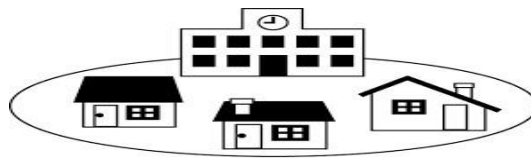


とうせい コミスク便り



令和6年10月24日
10月号

5年生・総合的な学習の時間「田んぼの学校」 9月18日「稲刈り」



5月20日(月)に田植えをして、4ヶ月後の9月18日(水)に稲刈りを実施しました。その間、6月の分けつや7月の出穂の様子を観察してきました。利き手に鎌を持ち、反対手の親指を下にして稲の根元を押さえ、さらにその下に鎌を入れて刈り取っていきます。教えられたとおりに、みんな上手に刈り取ることができました。今年もたくさんお米が実りました。



稲の乾燥「はさがけ」をしました。トラックで東聖小まで運んでもらい、グラウンドの隅に設置したスキー板用のラックに稲わらをかけました。10月の脱穀作業の日まで天日で干しました。

恒例の「田んぼの学校」ですが、9月18日(水)に予定通りの収穫体験ができました。鎌で刈り取り、ひもで縛り、はさがけするなど、体力がいる仕事を最後までやり遂げました。その後、じっくりとお米のことや農家の仕事について質問することができました。

【まちの先生方】

- おやじの会：島田さん(お米農家)
- 東和土地改良区：石川さん
- 町役場産業振興課：宮森さん
- 上川総合振興局中部整備室：小野寺さん、中村さん、熊谷さん
- 町役場地域の元気づくり課：加藤さん、水上さん

コミスク便りは東聖小HPからも閲覧できます。

二次元コードはこちら→



10月17日「脱穀」

脱穀機 稲穂を機械に入れて、粒を取ります。



粃摺り機 粃殻を取り除きます。少しずつ、慎重にやっています。



米選機 回転している鉄の網で、屑米と分別します。



【まちの先生方】

- おやじの会：島田さん（お米農家） ・ 東和土地改良区：岡田さん、太田さん
- 町役場産業振興課：宮森さん、伊藤さん、松井さん
- 町役場地域の元気づくり課：加藤さん、水上さん

10月17日（木）、東聖小で脱穀作業を行いました。9月18日（水）にはさがけして乾燥させた稲を、脱穀・粃摺り・選別して玄米にしました。脱穀機を4台、粃摺り機を2台、米選機を1台用意してもらって一気に作業しました。工程が進むにつれ、いつも見る米粒に近付いていく様子に5年生の子ども達は興味津々でした。普段何気なく食べているお米が食卓に届けられるまでに、これだけの工程を経ていることを、身をもって知ることができました。

社会や総合的な学習の時間で、東神楽町の農業について学ぶ機会がありますが、実際に作業を体験することによって、様々な視点から農業だけではなく、自分たちのふるさを見つめ直す学習になったのではないかと思います。この後は、島田さんに精米していただき、家庭科のお米料理の学習につなげていきます。

お世話になった皆様、大変ありがとうございました！